

東日本大震災 災害対策本部被害・設置状況に係る調査票

調査日：平成 23 年 4 月 13 日

自治体名	南三陸町	震 度	6 弱
人口（震災前）	17,815 人	世帯数（震災前）	5,365 世帯
死 者 数	437 人	行方不明者数	調査中
避難所数	45 箇所	避難者数	7,279 人

庁舎並びに被害状況写真の位置図



町役場及び防
災対策庁舎
被害状況の写
真 2 撮影箇所

被害状況の写
真 1 撮影箇所

仮庁舎

被害状況の写真 1

被害状況の写真 2



志津川駅付近から南方面

町役場付近から北東方面

庁舎の写真 1



防災対策庁舎（左手に本庁舎はあった）

庁舎の写真 2



屋上まで津波に襲われた防災対策庁舎

庁舎の写真 3



チリ津波(1960年)の高さ(2.4m)と町内の避難場所を知らせる表示板

庁舎の写真 4



本庁舎の跡（奥に見えるのは公立志津川病院）

仮庁舎の写真 1



仮庁舎入口

仮庁舎の写真 2



鹿児島県伊佐市からの応援車

仮庁舎の写真 3



蓄電池設備

仮庁舎の写真 4



投光器

庁舎の状況

□本庁舎は壊滅的な被害を受け、執務中の多くの職員（報道では死者・行方不明者 38 名（H20.4.1 現在の職員数は 222 名）が被災した（第 1 庁舎は昭和 32 年、第 2 庁舎は昭和 53 年、防災対策庁舎は平成 7 年にそれぞれ建設された。）。

＊新庁舎建設について平成 18 年に検討がなされたが、建設実施の結論には至らなかった。

http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/modules/gyousei/index.php?content_id=17

□仮庁舎は本庁舎のあった場所から直線で約 1.5km 離れた町総合体育館敷地内に建設(3/28 窓口業務開始)。発電機、投光器、仮設トイレなどが建物周辺に置かれていた。



本部室の状況

□本部室は仮庁舎敷地内の入り口から入って中央奥に置かれていた。

□扉の上には「がんばろう！南三陸」の横断幕。

□扉には「仮庁舎内見取り図」の他、「マスコミ関係無断入室禁止」の貼り紙、町長の所在を案内する貼り紙などが貼られていた。

その他、特筆すべき事項

□鹿児島県伊佐市から応援に来ている職員に出会った。市から 6 人が派遣され、危機管理だけでなく、福祉など分野に分かれて応援しているそうである。応援は、県などの調整に基づくものではなく、市長の判断による市独自のもの。

□仮庁舎には、報道機関、関係機関の職員も多く、移動郵便局もあった。

□仮庁舎に隣接する町総合体育館（ベイサイドアリーナ）は大規模な避難所となっており、多くの人の出入りが見られた。

□被災した防災対策庁舎では、調査中、応援機関職員、テレビ局、報道カメラマンが立ち寄り、写真を撮っているのを見た。防災対策庁舎が、今回の災害のシンボリックな存在として意識されているように感じた。

(注 1) 調査票の各項目に関する出典は、以下のとおり。

人口（震災前）：全国市町村要覧 平成 22 年版

世帯数（震災前）：全国市町村要覧 平成 22 年版

死者数：消防庁被害報第 100 報（平成 23 年 4 月 11 日 11 時時点）

行方不明者数：消防庁被害報第 100 報（平成 23 年 4 月 11 日 11 時時点）

避難所数：宮城県 東日本大震災における被害等状況資料（平成 23 年 4 月 11 日 19 時時点）

避難者数：宮城県 東日本大震災における被害等状況資料（平成 23 年 4 月 11 日 19 時時点）

位置図：背景地図は「電子国土」（国土地理院）より抜粋

（注 2）「震度」については、気象庁平成 23 年 3 月 30 日報道発表資料（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」により各地で観測された震度について）による（一部の震度観測点については精査継続中となっている）。